

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2021/11/29

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.64	0.27
JPY/THB	0.2970	0.0073
USD/JPY	113.38	-1.98
EUR/THB	37.91	0.50
EUR/USD	1.1317	0.0108
USD/CNH	6.398	0.010
SGD/THB	24.52	0.08
AUD/THB	23.95	-0.09
USD/INR	74.87	0.36
USD Index	96.09	-0.69

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.229	-0.007
10Y (THB)	1.924	-0.045
5Y (USD)	1.160	-0.183
10Y (USD)	1.473	-0.161

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,785.5	1.2
WTI (Oil)	68.15	-10.24
Copper	9,460.0	-341.5

Stock

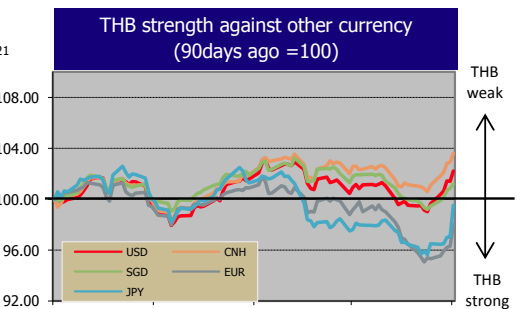
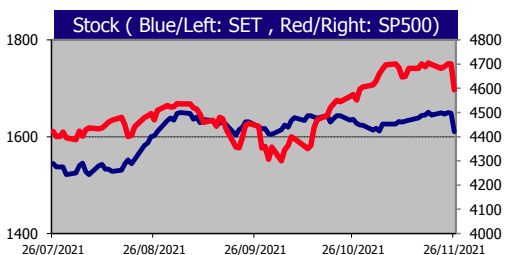
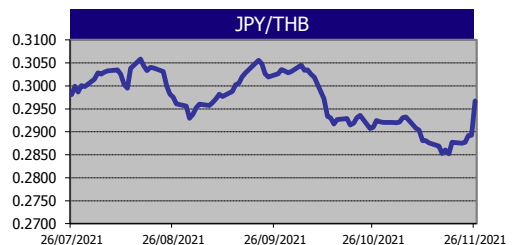
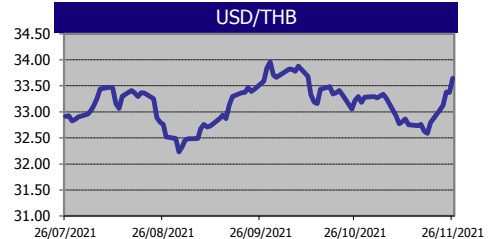
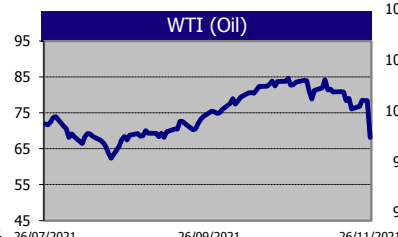
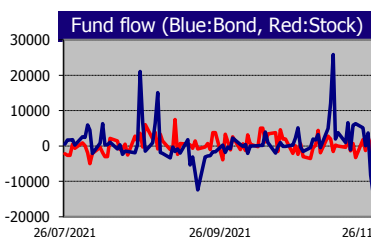
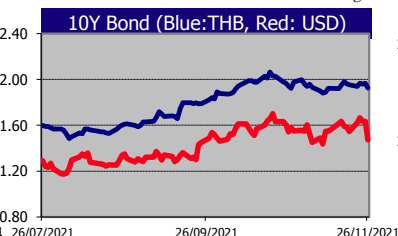
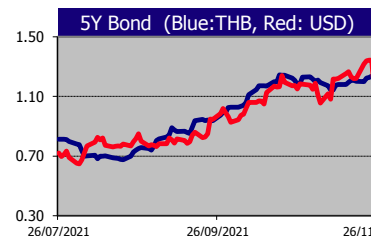
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,610.61	-37.85
NIKKEI (JP)	28,751.62	-747.66
DOW (US)	34,899.34	-905.04
S&P500 (US)	4,594.62	-106.84
SHCOMP (CN)	3,564.09	-20.09
DAX(GER)	15,257.04	-660.94

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(6,091)	-6429.6
Bond net flow	(13,600)	-5295.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

26日のドルパーツは33パーツ半ばで取引開始。ワクチンに耐性を持つ新たな変異株が南アフリカで確認され、アジア株式市場は軒並み下落。センチメントの悪化に伴いドルパーツは上昇。日中は月末スポット日だったこともあり、ドル売りで下押しされる時間帯があったが、すぐに切り返した。海外時間でもリスクオフムードは継続し、原油先物や米株は大きく下落。ドルパーツは33パーツ後半へと10月上旬以来の水準で引けた。

●ドル円その他

26日のドル円は115円前半で取引開始。南アフリカで新たなコロナ変異株が確認され、リスクオフが強まると日経平均は大幅安。米株先物や米10年債利回りの低下もあって、ドル円はほぼ一本調子で下落してバンコク時間終盤に114円を割り込んだ。海外時間、欧州株や短縮取引だった米株が下落、米債利回りも急低下する状況にドル円は一時113円近辺まで円高が進行。しかし、同レベルではドルに買戻しが入り、113.40近くまで反発して引けた。

Bangkok Dealer's Eye

また週末に相場が動きまわりました。先々週は欧州のオーストリアで再度ロックダウン突入のヘッドラインがきっかけとなり、先週はチェコでの非常事態宣言やスロバキアのロックダウン突入でセンチメントが悪化していたところに、南アフリカで新たな新型コロナ変異株(オミクロン株)が発見されたというヘッドラインが決定打となっています。特に先週26日は、米国感謝祭休暇明けで通常より市場参加者が少なかったことも重なり、米株先物や日経平均の下落にはじまって、アジア株式市場が総崩れとなり、欧州株も窓を開けて安寄りしました。こうした市場の反応を受けドルパーツは1週間で約2.5%下落し、週間では主要アジア通貨の中で最も対ドルで下落しています。今週も恐らく欧州を襲う新型コロナ感染拡大が嫌気されるほか、オミクロン株がワクチンによる予防効果が低い可能性があると報じられており、ワクチン普及を前提として予想されてきた世界経済の回復が根拠から覆される可能性が意識されるならば、更なるリスクオフの進展も避けられないと思います。その一方、週内には米経済指標やFRB高官の発言が予定され、これがポジティブな結果となればリスクオフからの巻き戻しが考えられますが、米金利の上昇に伴うと、結果的には新興国通貨にとってはドル高基調は変わらないこととなると思います。(鈴木)